

みなみちゃんまつり

6/19~7/15

連携先:南中地区青少年健全育成協議会

ねらい:地域の方々との連携や小学生のお世話を通して、自己有用感を高める。

- ☑ 自己有用感を高める
- ☑ 他者と協働する力を高める
- ☑ 学校や地域の一員としての自覚を持たせる
- ☑ 様々な活動に意欲的に参加できるようになる

ボランティア募集 6/19
役割分担決定 7/9

- ・まつりの体験コーナーで活動するボランティアに参加したい生徒が、申込書を提出する。
- ・体験コーナーや受付、司会等、担当する役割を決める。

会場準備 7/15

- ・青少協の方々の指示に従い、それぞれの担当場所での出し物の準備を行う。
- ・青少協の方々や小学生のボランティアと協力して、活動する。

まつり当日の運営 7/15

- ・ボランティアの生徒は、各コーナーにて、まつりに参加している小学生と一緒に遊びながら工作のしかたを教えるなどのお世話を行う。
- ・部活動ごとに参加している生徒は、フリースローゲームや茶道体験、演劇発表など、小学生が楽しめる企画を考え、運営する。



成果

- ・地域の方々や小学生たちとふれあうことで、普段の学校生活の中では見られない生徒たちの新たな一面や、ボランティアに一生懸命取り組む姿が多く見られた。
- ・体験を通して、地域や学校の一員であるという自覚を深めることのできた生徒が92%みられた。

課題

- ・想定よりも多くの小学生が参加したコーナーでは、材料が足りなくなってしまう、一部の子どもたちに残念な思いをさせてしまったため、より多くの人数が楽しめるように準備を行う必要がある。
- ・体育館以外で実施する体験や演目の時程を、複数箇所に掲示し、誰でもすぐに分かる工夫をしていく。